



実りの2学期、終わる

1学期、様々な形で種をまいたものが、2学期には、大きな実りとして見られました。9月には、小学校で運動会、中学校で学園祭があり、そこには、学級・チーム・学校全体が協力して1つのことをやり遂げる姿が見られました。授業では、一人一人が考えを持ち、それをしっかり伝え、最後まで聴くなど、日頃の学習の姿にも成長が見られました。新しい学級での集団に慣れ、安心して学んでいることを感じます。また、校外においても、以下に紹介する取組も含め、児童・生徒一人一人が活躍していました。

町長さんと語る会



10月30日(火)に町役場コンベンションホールにおいて、児童生徒連絡協議会主催の「町長さんと語る会」が開催されました。町内各小中学校と富士河口湖高校・ふじざくら支援学校の代表者と町長さん・副町長さん・教育長さん・教育委員会・富士東部教育事務所・町教育センターから合わせて65名の参加し、グループ討議と全体発表会が行われました。渡辺喜久男町長さんには、討議のテーブルに入り、意見交換等にもご参加いただきました。

参加した児童生徒の感想

- ・普段かかわりのない小・中・高校生や大人の人たちと話し合いを進めることで、自分たちの思いもつかない意見が出てきて、「こういう考えもあるんだなあ」と感じたり、「こういう考えも大切」だと勉強になった。
- ・住みやすい町にするためにどんな活動をすればよいかを町長さんと一緒に考えることができて勉強になった。
- ・町長さんの富士河口湖町に対する情熱や年長のかたがたのお話から、将来自分たちが町のためにできることを考える貴重な機会になった。
- ・町長さんの子どもたちへの期待が伝わってきて、頑張ろうと思った。
- ・この町の知らなかったことを町長さんをはじめとした方々から聞くことができた。この町に対する理解が深まった。
- ・自分たち一人ひとりが町づくりに参加しているということに気がついた。
- ・富士河口湖町のために私たちにできることを考え直す良い機会になった。



感想からは、「町長さんと語る会」が、参加した児童・生徒にとって貴重な経験だったことがわかります。さらに、ここで得たエネルギーをもとに各学校において活躍することも伺えます。町長さんからの「皆さんの町を思ってくれる気持ちに感謝し、また頼もしく思いました。皆さんは町の宝物であり、町の将来は皆さんにかかっています。元気を出して、この町が大好きになるように一緒に頑張りましょう。」という主旨のお話に、人を優しくつなぐ地域のより強い絆ができたようです。

心にまで響いた 親善音楽会



10月24日(水)には、湖畔親善音楽会があり、午前中は小学校9校が、午後は中学校3校が、合唱や器楽演奏を発表しました。ステージいっぱいの大規模校や全校で参加の小規模校も日頃の成果を発表し、湖南中体育館に、そして、会場一人一人の心に響かせました。感動いっぱいの1日でした。

